

進路だより No. 18

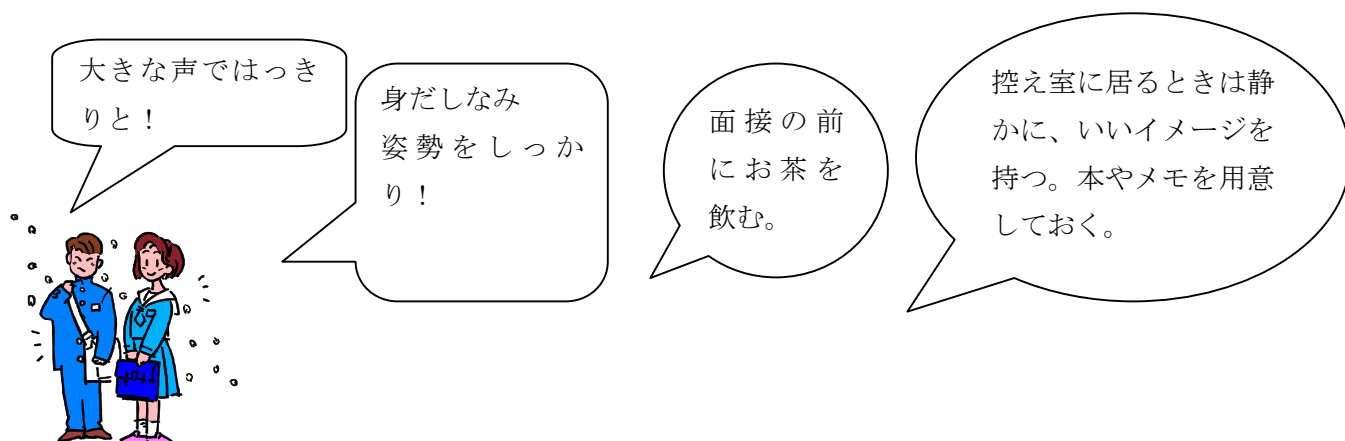


平成23年2月21日（月）

早いもので、卒業まで、あと2週間となりました。今週は公立推薦の発表、公立一般出願、卒業生を送る会など、行事もあり、あっという間に過ぎていくのではと思っています。どうぞ、落ち着いた生活を心掛け、体調を万全にして卒業式、公立一般入試に臨んでください。

公立の推薦入試面接で聞かれたこと

- ・ 中学校で辛かったこと、楽しかったこと。
- ・ 本校志望の理由。
- ・ 自分の長所、短所。
- ・ 生徒会、係、委員会ではどんな仕事をしたか。
- ・ 最近気になったニュース。
- ・ 最近読んだ本とその印象。
- ・ 高校に入学したら、やりたいこと。
- ・ 好きな教科と嫌いな教科。
- ・ 将来の夢について。
- ・ 「劇」をつくるとしたら、どんな役をしたいか。
- ・ この高校には何科があるか。
- ・ 趣味、特技、卒業後の進路はどうしたいか。
- ・ 希望する科とその理由
- ・ 普段の生活で心掛けていること。
- ・ 高校ではどんな部活に入りたいか。
- ・ 一日の学習時間。
- ・ 部活を通して感じたこと。などなど・・・



以下の詩は中学3年生の男子が書いたものです。10年以上昔のものですが、毎年、この時期になると、思い出します。

母と語る

夜、母と話しをしていました。
母は、静かな声で話しました。
なんの話かというと、
入試のことなのです。

母は第一志望校に落ちて、
第二志望の高校へ行ったそうです。
合格発表があった日、
一歩も家から出られなくて泣いて
たそうです。

だから、世間話などで
あの子は入ったとか、
この子は落ちたとか、
そんな話はいいししません。

今になってみると、
あの時のことが、
物の考え方に ひどく役にたったと
いつていました。
心の優しさの大切さもよくわかった
そうです。

いろんな人の気持ちが、
いろんな人の立場が、
少しでもわかるようになったのは
その時の体験があったと
淡々と話しました。

母は受検では失敗しました。
でも、優しさに磨きがかかったのです。
不合格を冷たい目でみない母を
むしろ尊敬します。

その時は悲しかったにちがいありません。
人の目を気にしたかもしれませんが、
でも、今は静かな声で話します。

年月がそうさせたのでしょうか。

人間の気持ちは変わるのでしょいか。

今ではそれが、

心の強さ、優しさになっているのです。

頭のいい、まるで失敗を知らない、
カッコイイ母でなくてもいいのです。
優しさをたたえた母が大好きです。

夜、母との話は沢山のことを考えさせてく
れました。

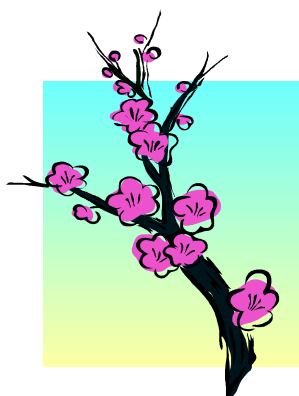
話の中身から、
語っている母そのものから。

今夜、

母が一層好きになりました。

母を前より尊敬する気になりました。

母にはいろんな体験があるのです。



三月に入って、
卒業式がすむと
僕の志望校の入試があります。
今夜母から聞いた話を胸の中にしまっ
て受検します。

人は

長い長い人生を歩いていきます。

その間に、いろんなことがあるでしょう。

目の前に迫ってきた入試。

これだって、たくさんの出来事の中の
ひとつのことです。

母みたいに、
心の栄養にしていきたいものです。